

外国語活動学習指導案

平成20年12月24日(火) 5校時

5年2組 男子19名 女子11名 計30名

授業者: HRT 保良 妙子

A L T Scott arthur Hale

1 単元名: Let's Make lunch 「ランチメニューを作ろう」

2 単元設定の理由

(1) 題材観

食は、人間が生きていく上で不可欠なことであり、すべての人にとって身近な題材である。本単元では、その食を題材とし、英語ノート「ランチメニューを作ろう」という内容に家庭科で学習した栄養素を関連させ、栄養のバランスのとれたランチメニューを作成し、友だちに伝えていく活動をしていく。栄養素をバランスよく組み合わせてメニューを作る活動は、思考させる活動として高学年の発達段階に合ったものであり、学習したことが生かされる活動であると考え。英語を使って家庭科で習ったことを生かして発表することで、英語で伝えられた、分かったという達成感や自信につなが、もっと英語で話したいという態度をはぐくんでいきたい。また、英語を用い、バランスよく組み合わせる活動を通して身近にある食べものの語彙や簡単な表現の定着、食に対する関心も図っていきたい。

(2) 児童観

事前のアンケートより、学級の約半数以上の児童が、英語で話せるようになりたいが、授業の中で使おうとしていないと答えている。英語活動が楽しいと感じている児童は約9割であることから、英語活動に対して意欲があり、児童の話す場を設定することにより、児童が積極的に英語を使って話すことができるだろうと考える。男女仲が良く、グループ活動もリーダーを中心に協力して活動することができる。また、食に関するアンケート調査によると、ほぼ全員に好き嫌いがあり、特に野菜が嫌いな食べものの上位を占めている。

(3) 指導観

本単元では、前述の実態を踏まえ、児童の話す場の設定を工夫し、できるだけ多く英語を使う体験をすることをねらっていききたい。そのために、まず、児童が安心して活動できる雰囲気作り、興味関心をもって取り組める活動を工夫していく。また、十分なインプットと練習の時間を確保し、発表に向けて自信を持って臨めるように準備させていきたい。発表の場面では、学習してきたことが生かされるような話す場の工夫をし、積極的な発話を図り、児童が伝え合えた喜びを味わうことで、英語でもっと話したいという態度をはぐくんでいきたい。

栄養素に関しては、料理を栄養素の働きで分類するようなゲーム活動で、楽しみながら知識を身につけられるようにしていく。また、栄養を考えたランチを作ることで、自分の食事について関心を持ち、よりよく改善していこうとする意識も持たせたい。

3 単元の目標

- ①慣れ親しんだ語彙や表現を使って、自分の思いを積極的に伝えようとすることができる。
- ②バランスの良いランチメニューを作り、英語で発表したり、質問に応答したりすることができる。
- ③日本と外国の食について相違点や類似点に気づくことができる。
- ④料理や栄養素の語彙や料理注文場面で使用される基本表現が分かる。

4 単元の具体的な評価規準

【コミュニケーションへの関・意・態】	【表現の能力】	【言語・文化への理解】
①慣れ親しんだ語彙や表現を使って自分の思いを表現しようとする。 ②ジェスチャーや具体物を使って自分の思いを何とか伝えようとする。	①食べ物や料理、栄養素の語彙が分かり、聞いたり話したりすることができる。 ②学習した語彙や表現を状況に応じて使うことができる。	①日本（沖縄）や外国の料理について違いや共通点に気づくことができる。

5 単元の指導と評価の計画

時間	学 習 目 標	学 習 活 動	評価規準			評価資料
			関	表	理	
1	<ul style="list-style-type: none"> 英語活動のルールが分かる。 英語で料理名が分かる。 料理の名前を覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アイスブレイキングで楽しい雰囲気づくり。 料理の名前を知り、かるたゲームをする。 	①			行動観察 ふりかえりシート
2	<ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の食べ物について相違点や共通点を見つけることができる。 料理の名前を覚えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> どこの国の料理か当てるクイズをする。 アメリカの料理についてALTから話を聞く。 料理の名前を覚えるゲーム 		①	①	行動観察 ふりかえりシート
3	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素の語彙が分かり、料理を3つの働きに分類できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素の語彙と色、各栄養素の料理を覚える。 料理を栄養素に分類するゲーム 	①	①		行動観察 ふりかえりシート
4	<ul style="list-style-type: none"> レストランの場面で使われる表現を使ってバランスのよいランチを作ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> レストランの設定で店員と客の役になり、ペアで習った表現を使いながらバランスのよいランチを作成する。 	①	②		行動観察 ふりかえりシート
5	<ul style="list-style-type: none"> グループでスペシャルランチを作り、発表の練習をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでバランスのよいランチを作る。 発表の内容を考え、練習をする。 	①	②		行動観察 ふりかえりシート
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> グループで作成したスペシャルランチを発表し、自分の思いを伝えることができる。 ALTの質問に答えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループでスペシャルランチの発表をする。 ALTの質問に答えたり、No.1ランチを決めたりする。 	②	②		発表 ふりかえりシート

6 本時の学習指導

(1) 本時の単元名

「ランチメニューを作ろう」

(2) 本時のねらい

①グループで作ったスペシャルランチを既習の表現を使って発表し、自分の思いを伝えることができる。

②ALTの質問に答えたり、友だちの発表を聞いてコメントすることができる。

(3) 授業の仮説

グループでスペシャルランチを発表する場において、既習の表現を使う場の設定をすることにより、積極的に思いを伝えようとすることができ、英語で伝え合えた喜びや楽しさを味わい、積極的に話す態度がはぐくまれるであろう。

7 本時の評価基準

学習活動	評価規準 【評価の観点】	判断基準			評価資料
		A	B	C（支援）	
① スペシャルランチの発表 ② ALTの質問に答えたり、友だちの発表に対してコメントをする。	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度②】 【表現の能力②】	<ul style="list-style-type: none"> 既習の語彙や表現、ジェスチャーなどを積極的に使って自分の思いを伝えようとしている。 ALTの質問に学習した語彙や表現を使って積極的に答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習の語彙や表現を使って自分の思いを伝えようとしている。 ALTの質問に学習した語彙や表現を使って答えている。 	<ul style="list-style-type: none"> グループで協力して語彙や表現を教え合い、発表できるようにする。 ALTの質問の意味を考えさせ、答えられるようにする。 	行動観察 発表 ふりかえりシート

8 本時の展開

過程	学習活動	教師の支援		○準備【評価】 ☆評価資料
		HRT	ALT	
導入 (3)	Let's start English Class.(日直) ①あいさつをする。(Greeting) T:Good afternoon everybody! How are you? S:I'm fine (good/happy) (day,month,wether....)	・ 明るい雰囲気を作る。 ・ 何人かの児童に自分の気分が言える場面を作る。	・ あいさつをする。 ・ 日付、天気を確認。 (気分を表す言葉) Fine, Good, Happy, So-So, Tired	○曜日、天気、 気分のカード
前時の復習 (5)	②ほめ言葉を練習する。 Good job, Great, Good idea, Very good, Excellent, Wonderful ③ Favorite food quiz をする。(学級の好きな食べ物ランキングクイズ) ④発表の基本話型を練習する。 S1:Our special lunch is ～. S2:The special menu is rice and miso soup and baked fish and salad. S3:Dessert is orange. S4:Drink is yogurt. S5:このメニューにした訳は～だから です。 S6:This is our special lunch! All:Thank you!	・ 発表後にほめ言葉を使ってコメントするよう勧める。 ・ 児童の様子を見ながら理解を助ける声かけをする。 ・ 児童と一緒に練習をする。 ・ 練習前に自分の発表する部分に注意して練習するように声かけをする。 ・ 練習させることで、自信と安心を持たせるようにする。	・ ゆっくりと分かるように発音する。 ・ 児童の様子を見ながらヒントを繰り返す。 ・ ゆっくりと分かるように発音する。 ・ 練習が終わったら、褒めて自信を持たせるようにする。	○ほめ言葉カード ○ランキングシート表示 【関・意・態】 ☆行動観察 ☆発表 ○基本話形表示
展開 35	⑤ Show&Tell の流れを知る。 1 発表をする。 2 ALT からの質問に答える 3 友だちのコメントをもらう。 4 最後にスペシャルランチ No1 を決定 ⑥ Show & Tell ・ 発表 ・ ALT からの質問 (各グループごとに) ・ 友だちからのコメント (既習のほめ言葉を使う) ⑦ No.1 ランチを決める。 ・ 各グループで No.1 グループを一つ決めて投票する。 ⑧ ALT,HRT から発表についてのコメントをもらう。	・ 日本語で説明する。 ・ No.1 ランチを決める視点を示す。 ・ よい発表について確認する。 ・ 司会の児童を支援する。 ・ 児童が ALT の質問を理解し、答えやすいように支援する。 ・ 友だちからのコメントが出やすいように声かけをする。 ・ No.1 を決める視点を思い出させ、なぜこのランチがいいのか理由も聞く。 ・ 全グループのがんばりをほめる。	(よい発表の仕方) ①みんなに聞こえる声ではっきりと ②動作などをしてわかりやすく ③聞いている人に伝えたい気持ちを持って ・ できるだけ簡単な語彙で質問をする。 ・ What food is in the red color group? ・ What food lunch do you like best? ・ 発表に対してほめる。 ・ No.1 グループを発表する。 ・ 全グループのがんばりをほめる。	○各グループ発表シナリオ・ランチの掲示物 ○司会のシナリオ 【関・意・態】 【表現】 ☆発表 ☆行動観察 ○投票用紙
まとめ (2)	⑨児童の感想 ⑩終わりのあいさつ Let's finish English class. See you next time. ⑪ふりかえりカードを書く。	・ 発表を促す。 ・ 感想が言えた児童を全員でほめる。	・ 感想が言えた児童を全員でほめる。	【関・意・態】 ☆発表 ☆ふりかえりシート

9 本時の評価

① グループで作ったスペシャルランチを既習の表現を使って発表し、自分の思いを伝えることができたか。【関心・意欲・態度】【表現の能力】

② ALT の質問に答えたり、友だちの発表を聞いてコメントすることができたか。

【関心・意欲・態度】【表現の能力】